

***大蔵 永常 著 『養葉園 松前の一部』

【読み下し文】

松前にて交易の諸品数多く有之、其内、重ちに

交易するもの鯨のみを以て松前中の命として

万事の本とす。此故、鯨などの浦近く来る事

度々の事なれば、恵比寿魚と尊称して、仮にも

鯨を取るといふ事、互ひに忌嫌ひ、鯨を尊へ思ふ

ハ、鯨の来る時、沖の方より鯨が鯨を追寄せ、磯近

く海の浅き所へ追寄せを以て、鯨数多く取得る故に

鯨を大ひに尊称して、恵比寿魚と尊ぶ由、松前

の習ハしなるべし。